



# NEWS RELEASE

2014年1月6日

報道関係各位

東和薬品株式会社

代表取締役社長 吉田逸郎

(コード番号 4553 東証第一部)

## 年頭所感

平成 26 年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

ジェネリック医薬品業界においては、平成 19 年より政府方針として掲げられてきました「平成 24 年度までに数量シェア 30%以上」という数値目標が達成できず、残念な結果となりました。昨年は診療報酬改定もなく、使用促進環境に大きな変化はありませんでしたが、4 月に厚生労働省から「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ」が発表され、新たに「平成 30 年 3 月末までに 60%以上」という新たな数量シェアの目標値が出されるなど、引き続きジェネリック医薬品に対するフォローの風が吹いている状況となりました。このような状況下、ジェネリック医薬品メーカーでは普及拡大に向けた体制強化が急務となっています。

2 年に一度、4 月に打ち出されるジェネリック医薬品に対する新たな使用促進策は見えていませんが、本年はジェネリック医薬品メーカーにとって厳しい薬価制度改革になると考えられ、当社にとっても厳しい環境となりますが、企業成長のためのさらなる設備投資、組織整備等を続けてまいります。

本年、当社は平成 23 年 11 月に策定した中期経営計画の節目を迎えます。中期経営計画の主要課題に対する取り組みについて、「東和式直販体制の確立」に対しては、現在当社の営業所が 57 ヶ所となっています。今後も代理店との共存共栄を図り、東和式直販体制を強化していきます。「製品総合力 No.1 の製品づくり」に対しては、世界で初めて割線を認識して製品名印刷をおこなった OD 錠（口腔内崩壊錠）を発売しました。今後も当社独自の RACTAB（ラクタブ）技術をはじめとした、付加価値の高い製剤開発に注力していきます。「安定供給体制の向上」に対しては、原薬の安定的な確保のためにグループ会社の大地化成にて 2015 年 3 月に稼働開始を予定している原薬製造工場の建設をおこなっています。また、万が一の災害などに備えた 3 工場でのバックアップ体制構想の実現、そして東西物流センターと東和式直販体制により、製造から販売に至るまでの安定供給を強化するよう努めていきます。

近い将来、日本国内のジェネリック医薬品シェアが欧米並みの数量シェア 60~70%まで必要とされる時期になったとしても、当社は安定供給、品質確保、情報提供の責務を高いレベルで果たし、患者さま、医師、薬剤師の皆さまの信頼に応えていきたいと考えています。本年も一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

以上

**東和薬品株式会社 広報室**

## 会社概要

- 社名 東和薬品株式会社
- 本社 〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号  
電話:06-6900-9100(代表)  
URL: <http://www.towayakuhin.co.jp>
- 代表者名 代表取締役社長 吉田逸郎
- 創業 昭和26年6月
- 設立 昭和32年4月
- 東証第1部上場 平成17年3月
- 資本金 47億1770万円(平成25年3月末現在)
- 事業内容 医療用医薬品(ジェネリック医薬品)の製造・販売  
自社製品 622品目(平成25年12月現在)
- 従業員数 1,691名(平成25年10月1日現在)

お問い合わせ先: 東和薬品株式会社 広報室  
〒571-8580 大阪府門真市新橋町2番11号  
TEL.06-6900-9102 / FAX.06-6908-6060

